

創立147周年

6月号（令和2年6月1日発行）



kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

人とかかわり 創りだす 笑顔あふれる鉄小

校長 森 愛子

学校に子ども達が戻って来ました。三ヶ月にわたる全市一斉臨時休業期間、子ども達にも保護者の皆様にも多大な負担をかけることとなってしまいましたが、いよいよ学校再開となりました。制約が多い中ではありますが、三密を避け、子ども達が毎日楽しいと思えるような学校生活にしたいと思います。ほとんどの行事が中止・延期となる中、田植えについては、坂田清一さんが機械で植えてくださることになりました。メイン学年である5年生が、機械の入れない場所を手植えします。全校での田植えができないのは、残念でありませんが、稲刈りは全学年でできることを願いつつ、今は、鉄の思いを5年生に託します。

第一期〈1日～12日〉は学年をAB2つに分け、時差を付けた分散登校期間です。エアコンのある教室を使用するため、普段使っている階とは違う学年もありますが、小規模校のメリットを生かし、全員が毎日登校できる形での分散登校が実施できました。新型コロナウイルス感染症について正しく理解させるとともに、鉄スタンダード(コロナ対応版)をもとに、三密を避ける行動のしかたなど子ども達への指導を進めます。家庭学習での課題を確認し、補習から始めるか新単元から始めるかなど、子ども達の実態に応じた学習再開とします。しかし、まず、一番の心配は、校門前での三密です。登校時からすでに、「新しい生活様式」の行動は始まっています。はやる気持ちはわかりますが、開門前に到着すると密になりますので、開門時刻前に着くことのないよう調整してください。その一方で、大勢でくっついて会話ができないなどの制約の中、仲間はずれの雰囲気や「コロナ」という言葉で人を傷つけるなどの子どもならついやってしまいがちな言動についての心配があります。そんな時こそ大人の出番です。学校でも、心のケアとして専任による全児童への面談や学校再開プログラムを活用して、子ども達の心の安定を図ります。思いやりがあり相手の気持ちを考えることができる鉄の子ども達ではありますが、社会全体が大きな変化を迎えた今ですので、ご家庭でも丁寧に見守っていただき、必要に応じて担任・専任・カウンセラーにご相談ください。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、鉄小なりの「新しい生活様式」を浸透させるまでは、ご家庭に協力をいただくことも多く、ご面倒をおかけすることになります。本日、持ち帰る沢山のプリントを読み、情報を共有していただき、準備していただくこととなりますが、子ども達が安心して学び、遊び、充実した日々を送ることができるよう教職員一同工夫を重ね、心を合わせ、頑張っ参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

